



センターニュースをお読みの皆様へ

4回目の緊急事態宣言が出されました。「またか」と思わずに引き続き、気を引き締めて諸対応をしていきます。コロナ禍になり当センターのリハビリテーション体制も変わりましたので、病棟や外来の利用者様にはご不便をおかけしております。重度の身体障害や特性のある発達障害を持つ利用者様とご家族の皆様も日々心配を抱えながらお過ごしのことと思います。当センターでは、引き続き「ゾーニング・3密を避けたレイアウト・換気・消毒・手洗い」等を

行なっていきます。また、職員の感染対策としてワクチン接種や定期的なPCR検査を行なっています。これらはすべての命を守る行動です。当センターのリハビリテーションを通して、利用者様とご家族の理解が深まり、これからも安全で楽しい生活を送っていただくように、職員一同、努力を重ねてまいります。



リハビリテーション部
次長 兼 理学療法科長
岸野 栄一

6病棟 大遠足 を実施しました

5月28日(金) 6病棟大遠足1班が行われました。テーマは「水族館」。厚生棟ではイルカがみんなをお出迎え！気分が盛り上がります。

午前中の「アクアリウムの制作」では魚やタコがかわいらしく泳ぐ作品が完成。最後は厚生棟の明かりを消して鑑賞しました。午後は、けやき広場周辺でのスタンプラリー。魚釣りやパズルを楽しみました。利用者様に「外出気分を味わって欲しい」「ゆっくり散歩を楽しんで頂きたい」と企画した大遠足。利用者様はもちろん職員も一緒に「水族館」を満喫することができました。

(療育主任 美保 弘輔)

3病棟 大遠足 を実施しました

6月22日(火) 3病棟西棟大遠足が行なわれました。今回のテーマは「お買い物に行っておきなお弁当を作ろう!」。4名ずつのグループに分かれ、お肉屋さん(グラウンド)・お惣菜屋さん(厚生棟)・主食屋さん(中沢池公園)・デザート屋さん(けやき広場)を巡って、それぞれお買い物をしました。めいめい作ったカードを持ち、サイコロやルーレットで値引きをしてもらったりしながら、特大の食材を購入。最後にみんなが買った食材を、大きなお弁当箱に詰めました。センター内ではありましたが、お買い物体験や外出を存分に楽しんだひと時でした。

(療育主任 宮沢 直美)



オンラインイベント を6つの病棟に配信しました

6月6日 (日) バイオリン演奏

バイオリンクラブ「キラキラ星」の皆さんからDVDとメッセージポスターをいただきました！今はメンバーが揃っての練習も難しい中「キラキラ星・メヌエット第3番・ガヴォット・ミッキーマウスマーチ・世界にひとつだけの花・情熱大陸・紅蓮華…」などたくさんの曲が収録されていました。午後のひととき、エネルギッシュなバイオリンの演奏とダンスに引き込まれて、身体を揺らしながら楽しんだ30分でした。



6月20日 (日) オンラインサーカス

「サーカスを、コロナ禍で面会が制限された施設に届けたい！～オンラインサーカス～」の企画に賛同された利用者様のお母様が、鑑賞チケットを「ギフト」という形でご紹介くださいました。利用者様も職員もめったにみる機会のないサーカスです。



イベントボランティアさんの受け入れも自粛中の日々…お母様の発想と行動力に感激しながら当日を迎えました。パフォーマンスはたっぷり1時間。笑いありハラハラドキドキありの1時間は、あっという間に感じました。
(編集委員 岩井 理)



接遇アップハンドブック ができました



すべての職員が職場の方針に沿って接遇の意識を高め実践することをねらいとして、2019～2020年度の2ヶ年計画で接遇アッププロジェクトがスタートしました。プロジェクトの核を担った推進グループと、現場にいる実践リーダー・外部コンサルティングの連携のもと進めていきました。

接遇の現状を把握し、目指す接遇を再構築していく道のり、そのゴールが接遇アップハンドブックの完成でした。

これまでは各部がバラバラに行っていた接遇の取り組みを、センター全体の視点で整え、「人権尊重・利用者様主体・真摯な代弁代行・和やかな連携協働」を接遇

キーワードに、私たちの接遇が大切にすることを明確にしていきました。その内容は、コミュニケーション・身だしなみ・環境・電話やメールの対応・ハラスメントなど、多岐にわたりました。接遇アップに取り組む場合、どうしても「どっきりマナー」とらわれがちになります。しかし「にっこりマナー」がもたらしている効果を大切に考え、周囲の言動に意識を向けてみると、職員ひとりひとりの周りには必ずマナーモデルが存在しています。たくさんのマナーモデルの「にっこりマナー」を少しずつ自分に取り込み、いつのまにか自分自身が誰かのマナーモデルになることができたら最高です。



「島田療育センターの接遇は、相手の立場や思いを尊重し、常に謙虚な言動で気持ちよく接することです。」と自信を持って言えるように。そして、より良い接遇の実践が、利用者様のより豊かな生活につながる「はじめての一步」であると信じて。

(接遇アッププロジェクト推進グループ 岩井 理)

家族向け発達支援講座

子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方

6月29日(火)、多摩市総合福祉センターにて、家族向け発達支援講座の第1回目を実施しました。この講座は、これまで島田療育センターのOT、ST、心理といったリハビリスタッフが、近隣の施設にて実施してきた地域向け講習会を、“家族向け発達支援講座”としてまとめたものです。

今回は、『子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方～やってみようペアレントトレーニング～』の講座に8名の方がご参加くださいました。講義の中では、お子さんの行動の背景や成長過程に目を向け、お子さんにとってわかりやすく必要なことを伝えていく方法についてお話ししました。さらにポイントを押さえて上手に褒めることの大切さや、お子さんだけでなく保護者の方も安心して、日々の生活の中にある様々な課題に

取り組むためのコツや工夫についてもお伝えしました。講座の後半、いただいた質問にお答えする時間では、講義の内容に沿ってお話しをさせていただきました。参加されている方々の、お子さんについての心配事や気持ちはそれぞれでしたが、皆さん熱心にメモを取られ、お子さんの様子を思い浮かべながら聴かれていたようです。当日はあいにくのお天気でしたが、忙しい合間を縫ってご参加くださっている姿を拝見し、今回の講義が少しでも日常の中で役立ち、親子の楽しい時間が増えてくれるとよいなと、担当した私たちも心から感じ、次への励みとなりました。

(公認心理師 菊地 文)

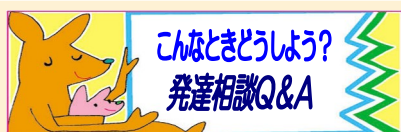


2021年度発達支援講座 今後の開催予定

日時(時期)/会場	内容	定員	講師
9月5日(日) 10:00-11:15	うちの子って不器用? 字をかくための手先のそなえ	10名	作業療法士
11月 火曜日 10:00-11:30	食べる機能の発達について～偏食をふまえて～	15名	言語聴覚士
12月 火曜日 10:00-11:30	子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方 ～やってみようペアレントトレーニング～	12名	公認心理師
2022年 1月 土曜日 10:00-11:30	今日からできる! 姿勢を育てるためにできること	20名	作業療法士

当記事と同じ内容です

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情勢に応じて開催について予定に変更が生じる可能性があります。ご了承ください。



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか?

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

お座りがなかなかできないのですが、どうしたらよいのでしょうか?



A

母子手帳には、お座りができる目安が6・7ヶ月と書かれています。このお座りとは、介助で座れるというより、寝た状態から自身で起き上がって座れることを指します。座れる力は、手の発達やバランス反応の上達、身体がしっかりしてきた証拠でもあります。そして上の方にある物を見たい、触りたいという好奇心が育ち、うつ伏せより座って遊ぶ方が楽(=効率的)になり、運動発達や安定した姿勢を促します。

お座りが難しい方は、まず興味あるもの(人やオモチャ等)はあるか、手の使い方はどうか、(頭を打たないか、周囲に気を配れるか等)安全に寝返りやずり這いができるか等、前の段階の様子を確認してみましょう。子どもの発達は、ゆっくりだったり急に伸びたり前段階に戻ったり、と行ったり来たりすることがあります。その子の脳の中で、運動学習の整理や再構築されるとも言われています。ずり這いや座位、立位、歩行等は、プログラムされていることとはいえ、色々な要素が組み合わさっています。

子どもの成長については一人で悩まず、発達健診や相談機関等にどんどん相談してください。

(理学療法士 岸野 栄一)

利用者様の居住スペース

季節の彩り

毎月、担当の職員が天井や壁面に季節感のある飾りつけをしています。



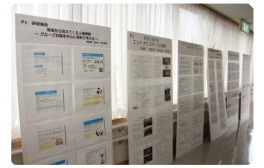
7月のおやつ紹介

海のなかまたち

第11回

島田療育センター集談会を開催しました

6月28日(月)から、第11回島田療育センター集談会と題して、センター内における研修報告や研究発表の場を設けました。本来であれば会場に集まって発表と質疑応答を行う



口演発表の動画だけでなく、ポスター掲示も行いました

のですが、感染対策の観点から口演発表はオンデマンド動画の形式を採りました。発表内容はセンター内からのみ利用できる「研修視聴サイト」に掲載し、職員は任意の時間に視聴できるようにしています。今後も感染状況に注視しながら適切な開催方法を検討していきたいと思っております。(集談会運営委員 神田 水太)

おしらせコーナー



家族向け発達支援講座3

うちの子って不器用?

字をかくための 手先のそなえ

日時 9月5日(日) 10:00~11:30
場所 ヘルプ永山 4F 学習室
対象 年少・年中前後のお子様をもつ保護者の方 かつ東京都にお住まいの方 1家族1名様まで



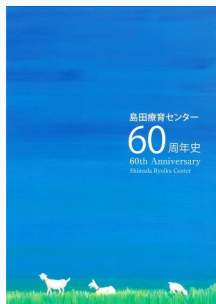
詳細はこちら

わいわい祭り2021は中止いたします

例年9月に開催しておりました、センターの恒例行事であるわいわい祭りに関して、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、大変残念ではございますが昨年度に引き続き中止する事といたしました。入所利用者様に関しましては活動自粛が続いており、数々のイベントが中止となっている事から、昨年度同様に花火だけは打ち上げたいと考えております。ご理解の程よろしくお願い致します。

働くヤギたちが紹介されました

nippon.comにて、当センターで働くヤギたちが紹介されました。ヤギたちは当センターでも人気者で、5月に発行された当センターの60周年史の表紙にも採用されました。



60周年史の表紙

掲載記事はこちら



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)



7月16日に関東でも梅雨が明けました! 6月は曇りと雨ばかりだったので青空とまっしろな入道雲を見ると気分が晴れ晴れします。それは植物も同じでグラウンドにある菜園の夏野菜たちもお日様の光をたっぷり浴びて立派な実をたくさんつけていました。ただ夏本番になるこれからの日差しは強すぎるので熱中症には気をつけて下さいね。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



フォロー
ほっけ



フェイスブック

